

平成26年度 学校関係者評価報告書

大阪市立豊新小学校 学校協議会

1 総括についての評価

本年度の学校の自己評価結果は概ね妥当である。

学力向上には、子どもが楽しいと感じる授業をすることが大事である。そのためには、指導力のある教師の育成が必要である。先生一人ひとりが研修を積んで、レベルアップすることを望む。

また、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」については、運動量で児童の体力、運動能力が変わってくることが分かった。今の児童は、スマホやインターネットをして過ごす時間が多く、限られた時間をそのようなことに使い過ぎると、運動をする時間が減ってしまう。

体育の授業での運動量の確保と学校や地域のクラブ活動への参加も呼び掛けいかなければならない。

授業参観を増やしたり、学校公開日を設定したりして、地域や保護者が学校に来る機会を増やし、学校の取り組み様子をわかりやすくすれば、連携や協力もしやすくなるのではないか。

地域は学校に全面的に協力するので、相談してください。

2 年度目標ごとの評価

【学力の向上】

本年度取り組んだ言語活動の充実を図る授業づくりを継続して進めることと、先生個々の指導力の向上をめざしてほしい。さらに、3年生から取り組んだ外国語活動の充実についても期待する。

【道徳心・社会性の育成】

この一年間で、学校も落ち着いてきた。命の大切さや人権について考える児童が増え、仲間を大切にする態度が身についてきたのではないか。

1月に行った防災訓練も地域と一緒に取り組み、内容としては児童にインパクトがあるものになった。来年度以降の取り組みも考えていかなければならない。

【健康・体力の保持増進】

体育の授業内での運動量の確保をしっかり行ってほしい。また、継続して運動を続けるなどして、体力、運動能力のアップにつなげていってほしい。

【特別支援教育の充実】

個別の児童の様子をしっかり把握し、個別の支援計画、指導計画に基づいて指導をしていってほしい。

【学校の活性化】

授業参観・懇談会を増やして、保護者や地域が普段の学校の様子、授業の様子を見るができるようにしていってほしい。学校公開日などを設定すれば、保護者も学校に来やすいのではないか。

【教職員の資質・能力の向上】

教員の指導力のレベルアップのため、研修を充実させていくことや、専門性を持った教員を増やすことはできないのか。

【学校・家庭・地域の連携の推進】

授業参観を増やしたり、学校公開日を設定したりして、地域や保護者が学校に来る機会を増やし、学校の取り組み様子をわかりやすくすれば、連携や協力もしやすくなるのではないか。

地域は学校に全面的に協力するので、相談してください。

3 今後の学校運営についての意見

学校・保護者・地域が一体となって取り組んだことで、落ち着きを取り戻した。

学力、体力・運動能力が向上していくよう教員もレベルアップし、開かれた学校づくりに期待する。